

# 学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川  
**至誠学園**

平成20年9月15日

〒190-0022 東京都立川市錦町6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shisei.org/> Email: [info@shisei.org](mailto:info@shisei.org)

発行 児童事業本部 広報委員会

## 野球部快進撃 江戸っ子杯準優勝 6ブロック優勝



テレビ朝日文化事業団・毎日新聞東京福祉事業団・報知社会福祉事業団・三菱厚生事業団の後援による江戸っ子杯争奪児童福祉施設野球大会が8月4日から6日まで実施され、小中学生で編成される至誠学園野球部は、日頃の練習の成果を存分に発揮、みごと準優勝することができました。

また、8月23日に実施された三多摩地区児童養護施設野球大会(第六ブロック)では見事に優勝し、至誠学園としては実に十数年ぶりの快挙となりました。



## 昨年度を振り返りつつ新たな体制で

今日、重複した課題を持つ子どもたちの入所が増えている中で、望ましい家庭的養護をテーマに、安心・安全な場を用意すること、義務教育終了後も、自ら希望するチャンスを具体化するような取り組みがなされたと思います。学習指導として協力いただくボランティアの方々に加え、地域の学習塾などへ積極的に通うチャンスを作った結果、全員の高校進学が実現したことは、そうした努力のあらわれでもあります。

平成17年、18年と東京都の家庭的養護推進モデル事業として実施してきたことが、平成19年度には予算化・施策化され、ケースカンファレンスを児童精神科医で法政大学教授の皆川先生にお願いしてきましたが、さらに子どもたちの生活の中に関与していただく、精神科医の板井先生を毎週お迎えしたことも、施設養護としての大きな転換点であったと思います。

地域の中でも、学校現場に介入し、地域の青少年健全育成事業や子ども支援ネットワークのメンバーとして参加するなかで、理解を求めたりすることも多々ありました。ケースカンファレンスや個別指導などが繰り返されるなか、ケースの課題の重層化を実感し、関係機関とのさらなる連携を目指し、児童相談所の措置権者としての児童福祉に

対する期待を受け止め、そしてソーシャルワーク支援を求めることも、多々ありました。

児童棟の内外の補修を総工費4,500万円(約3,000万円の補助金、自己負担分1,500万円)で行い、法人100周年事業の一環として、センチュリープロジェクトとして、ここに30人の小規模児童養護施設、特にケアの連続性を考えて0歳から入所できる施設作りを進めようとしています。虐待を早期に発見し、それに対応する子どもの養育と同時に家族支援を考えた施設として、またスタッフの研修、自己学習などが可能な施設の付設などを考え、東京都に対し設置申請をいたしました。

地域小規模児童養護施設「万願寺」の増設も実現し、全児童82名(今年度末定員)となりました。このような昨年度の事業の流れを受け、法人組織を一部変更し運営を行うことになりました。地域の支援者である岩崎様、並びに後援会役員の方々を中心とした地域の皆様のご協力により、借入金のおよそ半分を返済することができました。私たちは、こうした地域社会の多くの方々のご支援と励ましがあってこそ、社会的児童養護の活動が推進できるものと考え、ここに重ねて感謝を申し上げます。

ごあいさつ

理事長 高橋 利一(児童事業本部長、統括学園長)

昨年度より法人の組織の再編成がなされました。保育園が集合されて児童養護施設と自立支援法による施設で新たな児童事業本部が結成されました。

至誠学園において施設長が交代いたしました。高橋久美子施設長は任期満了により交代し、新たに本部事務局長に就任しました。新施設長には、長年、児童養護に従事している石田芳朗副施設長が就任しました。

前施設長 高橋 久美子

皆様のお支えにより、これまで施設長として努めることができました。子どもたちの親権者を代行する責任の重さを感じる7年でした。また、「学園のお母さん」の教えと考え方を大切にしながらの40年でもありました。今後は理事長を助け、学園の経営に事務局長として努力していきたいと思います。長年のお支えに感謝いたします。今後とも新施設長をよろしくお願ひいたします。

新施設長 石田 芳朗

至誠学園で20年間、児童指導員として業務に従事して参りました。これまで、現理事長の高橋利一先生をはじめとして、前任施設長の高橋久美子先生、学園のお母さんこと高橋田鶴子先生より、法人の理念である「誠の心」の働きについて、深い教えとともにそこにもなう実践を頂戴してまいりました。また、地域の支援者の皆様やボランティアの皆様、そして一人一人の子ども達からもたくさんの教えと力を頂いてまいりました。今後もこれら教えとつながりを大切に、皆様のご支援により、子ども達の明るい未来のため、職員一丸となって共に努力していく所存でございます。

どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願ひ申し上げます。

福祉サービス第三者評価

社会福祉法第78条により、本年度も福祉サービス第三者評価を受け、無事終了いたしました。(平成20年3月11日実施)

平成19年度収支決算報告

\*増設会収支報告

収入の部	収入計	支出の部	支出計
寄付金収入	25,702,951	事業費	9,594,193
		借入金償還金	7,574,102
		借入金利息	3,441,226
その他	27,552,615	その他	166,112,272
		当季繰入金	16,034,773
収入合計	53,255,566	支出合計	53,255,566

平成19年事業報告、決算報告

事業報告 (昨年度主なもの)

■「学園のお母さん」の逝去と学園葬

「学園のお母さん」として学園の基礎を築き上げた、高橋田鶴子先生が逝去され、学園葬として大勢の皆様を送っていただきました。

■東京都家庭的養護推進モデル事業としての実践が施策の決定に

平成17年、18年の2年間にわたり、学園が実施、検証してきた家庭的養護推進モデル事業のなかから、グループホーム生活支援職員の配置が、東京都の全児童養護施設に予算化されました。

■児童精神科医の生活への参加

平成17年から児童精神科医の皆様直先生(法政大学現代福祉学部教授)のケースカンファレンスを継続して実施してきましたが、今年度は、子どもたちの生活に参加する形で板井貴宏先生の参加がありました。

■国型地域小規模児童養護施設万願寺の増設

新しいグループホームとして、定員6名の万願寺が増設されたことで、児童の定員は82名となりました。

■センチュリープロジェクト立上げ(仮称第二至誠学園)

虐待を早期に発見し、それに対応する子どもの養育と家族支援を重点的に行う施設として定員30名、乳児からの受け入れ可能な児童養護施設の設置を、東京都に申請しました。

■大規模修繕

本園の児童棟の内外を修繕し、子どもたちの生活の場もさらに安全で快適なものになりました。

\*施設会収支報告

収入の部	収入計	支出の部	支出計
事業費(人件費管理費)	318,444,770	事業費(人件費管理費)	314,852,657
国	187,530,364		
東京都立1市	125,219,166		
雑入	5,695,240		
事業費(子どもの生活に関する費用)	75,783,844	事業費(子どもの生活に関する費用)	69,705,694
国	55,171,175	食費	25,247,971
東京都立1市	17,218,554	教育費	11,802,551
寄付金	3,035,774	教養娯楽費	6,862,583
雑入	358,341	水道光熱費	12,226,433
		生活費	13,566,146
		借入金償還金	13,500,000
借入金利息補助金収入	2,201,100	借入金利息	2,201,100
大規模修繕事業	45,750,000	大規模修繕事業	49,625,000
補給金	35,250,000		
寄付金	5,500,000		
その他	5,000,000		
その他	9,708,889	その他	1,457,807
(寄付金繰入金雑入)		(進学就職資金等)	
		当季繰入金	546,345
収入合計	451,888,603	支出合計	451,888,603

## 平成 20 年事業計画概要

### 1. 事業実施方針

#### <基本方針>

- 子どもの権利擁護を基軸にした養護内容による、自立支援の推進
- 地域・子ども家庭支援機能を含めた施設機能の充実
- 地域児童福祉ネットワーク作りの推進と、子どもたちが健やかに育つ環境作り

#### <今年度重点目標>

- 時代に則した施設運営の推進  
中長期計画の策定、本部事務局機能の強化、サテライト型児童養護施設の推進、第三者評価及び苦情解決システムの活用、IT化の推進、地域における環境づくり
- 社会的養護の専門家としての充実  
職員の養成、手順書(マニュアル)の充実
- 個々のこどものニーズへの更なる的確な対応  
子どもの権利擁護を基軸とした援助、専門的かつ適切なケアの構築及びその提供  
自立支援計画の充実、被虐待児等への専門的な対応、ファミリーソーシャルワークの推進、学習指導の強化、豊かな食生活の推進、地域社会資源の活用、ボランティアの活用

### 2. 施設利用者

- 施設の児童定員： 82 名(年齢 2 歳～18 歳)
- 内訳： 本園 40 名 (10 名×4 ホーム)、  
分園 36 名 (6 名×5 ホーム)、  
地域小規模児童養護施設 12 名 (6 名×2 ホーム)
- 幼児保育： モンテッソーリ立川子どもの家(2 歳～学齢前)  
一部地域児童に開放
- 子どもショートステイ事業： 立川市(定員 2 名)  
日野市(定員 4 名)

### 3. 職員状況 (平成 20 年 4 月現在)

職員数 52 名(常勤 41 名、非常勤 11 名)のうち、直接児童にかかわる職員(保育士・児童指導員)は 38 名で、そのうち社会福祉士有資格者は 12 名となっている。

### 4. 補助事業

子どもショートステイ事業(立川市・日野市)受託

### 5. 特別事業

- 法人センチュリープロジェクトの推進
- 地域小規模児童養護施設(単独型)の試行的設置運営の推進
- 外部経営コンサルタントの導入
- 専門機能強化型児童養護施設への取り組み
- 家事援助者のかかわりの充実
- 児童ソーシャルワークの研究
- 法人なみき計画の地域小規模児童養護施設(定員 6 名)の準備

## 平成 20 年度収支予算計画

#### ※ 本部会計(至誠学園分)

	予算額	摘要	
収入の部	積立預金取崩	20,000,000	
	寄付金	21,700,000	利用料収入他
	その他	11,995,000	
	収入計	53,695,000	
支出の部	運営費	9,018,000	センチュリー事業準備
	借入金返済	11,016,000	
	センチュリー事業	20,000,000*	
	法人内資金移動	11,486,000	
	当期繰越金	2,175,000	
支出計	53,695,000		

#### ※ 施設会計

	予算額	摘要	
収入の部	措置費	253,605,000	国*
	補助金	138,181,000	東京都
	寄付金	1,050,000	
	その他	9,862,000	利用料収入他
法人内資金移動	6,586,000	職員研修費用等	
収入計	409,284,000		
支出の部	人件費	266,293,000*	
	事務費	42,357,000*	
	事業費	73,368,000	{食費、教育費、水道光熱費、 行事余暇活動費、他生活費}
	借入金返済	15,481,000	元金、利息
	その他	500,000	
当期繰越金	11,285,000		
支出計	409,284,000		

平成 19 年度は、大規模修繕に伴う費用、新グループホーム万願寺開設にかかる改築費用を、事務費として計上しました。今年度はこれにより入所児童の定員増となり、措置費、人件費が増加しています。

また、今年度の重点事業として、センチュリープロジェクトの準備で本部会計、職員研修の充実のための管理費がそれぞれ増加しています。

東京都の予算が削減されており、これに関連して、学園への補助金も削減されています。

## センチュリー計画 (仮称第二至誠学園) 中間報告

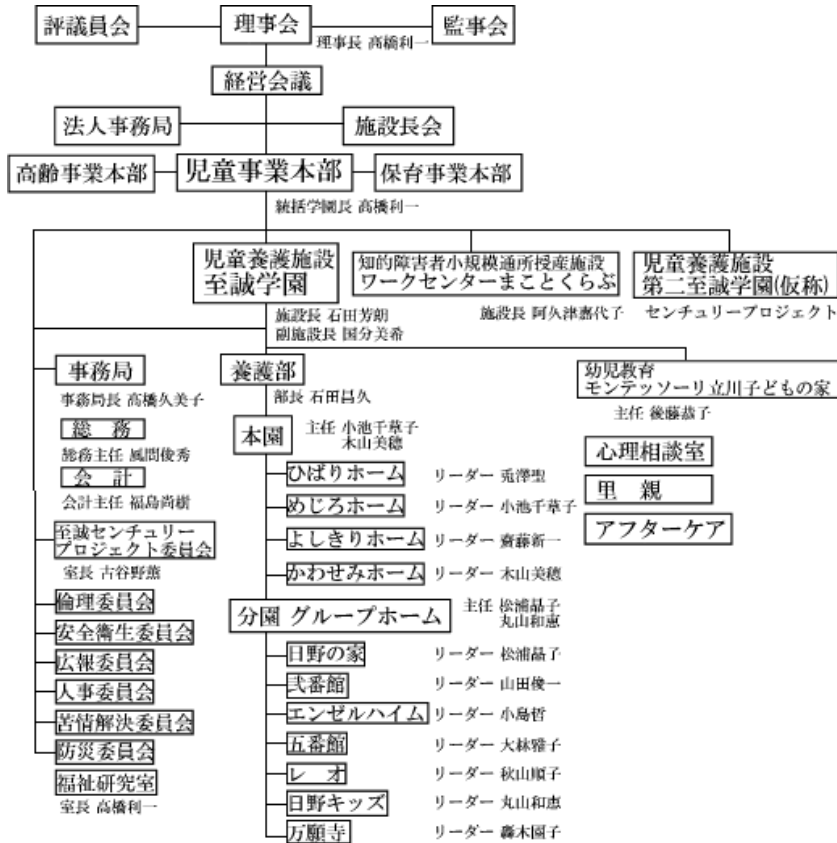
建物は、まだ図面の段階ですが、二階建ての児童棟(6~8 人×4 ユニット)と四階建ての地域交流スペース、研修室、親子訓練室などをもった管理棟で構成されています。

4LDK の小舎に 0 歳から 10 歳位までの 6~8 人の児童が、3~4 人の担当職員(交代勤務)と生活を共にする男女混合縦割り小舎制をベースに、各ホームの職員と心理担当職員の定期的な検討会、家庭支援専門相談員による家族や関係機関との連携の強化、家庭復帰に向けた親子訓練、趣味や懇談、子育て講演会など、地域の人がいつでも交流できる地域交流スペースが設けられ、やがて地域の「助け合いの心」を育み虐待の防止や子育て支援につながるものと期待しています。

被虐待による心の傷を持った児童、発達障害児など専門的なかかわりを必要とする児童が激増する中で、施設職員の専門性の向上は急務となっています。至誠学園のみならず、広く関係施設、機関に呼びかけて福祉の専門性を高めるための研修を企画実施すべく準備を進めています。この新たな挑戦のため皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

# 至誠学園 平成 20 年度組織紹介

## ■新しい児童事業本部組織と至誠学園の組織図(主な担当者名)



## ■苦情解決委員

### 苦情受付担当者

高橋 久美子、国分 美希、石田 昌久

### 苦情解決責任者

石田 芳朗 (施設長)

### 第三者委員

木津川 迪洽 (弁護士)

名取 種子 (民生児童委員・人権擁護委員)

石川 親治 (元中学校教諭)

## ■アドバイザー

- ・若穂井 透 先生(弁護士)
- ・川原会計事務所(公認会計士)
- ・林労務管理事務所
- ・西澤 哲 先生(被虐待児対応)
- ・金子 保 先生(職員メンタルヘルス)
- ・高橋 久雄 先生(昭和女子大学)  
(養護原理・グループワーク)

## ■平成 20 年度園内定例研修

皆川 邦直先生 (法政大学教授・年 10 回)

困難事例ケースカンファレンス

金子 保先生 (淑徳大学教授・年 6 回)

至誠学舎の精神とケアワーク

抱える力について

小野 純平先生 (法政大学教授・年 6 回)

ハイリスク児童の学習

スタイルに合わせた個別援助

西澤 哲 先生 (山梨県立大学教授・年 6 回)

施設で暮らす子どもたちの心理行動的特徴と

施設における生活支援、ケアワーク

高橋 利一 学園長 (不定期、ゼミナール形式)

児童福祉政策の動向、児童養護実践

## ■至誠学園のスタッフ (一部掲載)



統括学園長 事務局長



ファミリーソーシャルワーカー正副施設長



総務部



かわせみホーム



よしきりホーム



めじろホーム



ひばりホーム



モンテッソーリ立川子どもの家



日野の家



式番館



エンゼルハイム



レオ



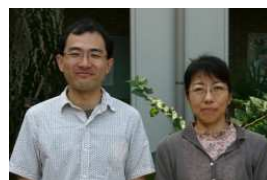
五番館



日野キッズ



万願寺



嘱託医・セラピスト



福祉研究室



調理師 栄養士

こどもたちの春・夏

■ ガーデンパーティを開催

5月4日に毎年恒例の行事であるガーデンパーティを開催し、地域の方々や日頃より学園を支えて下さっているの方々等、1000人を超える参加者とともに子ども達の健やかな成長を祝うことができました。44回目を迎えた今回のテーマは、「人にやさしく 地球にやさしく」。このテーマの下、事前準備から当日まで、ボランティアの方々や地域の方々との触れ合いを大切に、また“エコ”を心掛けた企画・実施となりました。

当日は晴天に恵まれ、明星大学吹奏楽団のマーチングバンド、法政大学応援団チアリーディング部のチアリーディングによるオープニングセレモニーにはじまり、各参加者団体によるゲームコーナーや飲食模擬店コーナー、ミニバザー等さまざまなプログラムを楽しむ子ども達や参加者の方々の姿にあふれていました。



こどもたちのなつやすみ



■ 臨海(興津海岸)

今年の夏もグループ毎に3泊4日で、囉美・勝浦の家へ行き、海水浴や釣りなどをたっぷり満喫しました。徳井様からは美味しいお刺身やお野菜などたくさんの差し入れをいただきました。



■ ガールスカウト活動

8月4～6日の二泊三日で八ヶ岳山荘にキャンプに行きました。高原の夏をおもいっきり満喫しました。



■ ドッジボール、野球大会への参加

東京児童福祉施設競技大会に出場しました。日頃の練習の成果を十分に発揮し、ドッジボール部はベスト8、野球部は準優勝しました。

チームワークよく、とてもいい試合となりました。



■ ボーイスカウト活動

ビーバースカウト  
 デイキャンプ  
 カブスカウト  
 伊豆田牛でキャンプ  
 ボーイスカウト  
 合同キャンプ  
 (山中野営場)

こどもたちの海外交流

イスラエルからスニールくん



7月16日から1ヶ月、イスラエルの高校生、スニール・サンドフスキーくんがライオンズクラブのYE生として学園にホームステイされました。学園の子どもたちと生活を共にしながら富士山や東京タワー、六本木テレビ朝日のスタジオ等を見学しました。

ポルトガルへSさん



パティシエを将来の目標にしているSさんは、東京立川ライオンズクラブ様のご支援で1ヶ月間ポルトガルへライオンズクラブのYE生として派遣していただきました。

オレゴン州ポートランドへYさん



Yさんはテレビ朝日社会福祉文化事業団が主催する「海外生活体験の旅」へ参加しホームステイしました。高齢者デイサービスセンターのランチサービスのボランティアをさせていただいたり、ラフティング、ハイキングの他、ホストファミリーとの生活を体験しました。

## 後援会から

今日児童福祉の様相は、児童虐待に代表されるように、養育環境や子どもの抱える問題が複雑化し、心身に傷を負い、深い癒しを求めている子どもたちの増加にあります。また、先行きの不透明な家族崩壊、不安定な生活状況から、社会への自立や家族の再統合が困難な社会です。このようななか、国の福祉改革が進められ、国及び東京都に代わって社会的養育を必要とする子どもの養育を担うのが、至誠学園です。変化する社会情勢のなか、社会的養護を必要とする児童の増加に伴い、至誠学園ではグループホームの増設により定員を82名に増員しました。さらに、法人としてセンチュリープロジェクトが立ち上げられ、新たな養育体制の構築に向けた施設づくりが進められています。

当後援会にとって、園舎構築に伴う借入金の返済資金と、新たな福祉活動への取り組みに伴う旧学園の土地購入資金の構築はますます重要な要因となってきています。本年度も後援会として、入所児童および施設運営のための資金づくりなど支援をすることができました。

(至誠学園後援会 会長 三田鶴吉)

### 平成19年度 後援会事業報告

#### ■後援会役員(50音順・敬称略)

会長: 三田鶴吉 副会長: 土井智生  
 理事: 青木徳祐、浅見義明、石井謙任、岩崎浩三、尾崎豊、小山廣重、杉田英一、名取種子、西村よね、長谷川照代、深沢よし子、丸本大、矢野雄一、高橋利一、高橋久雄

会計: 渡辺道子 監事: 緒形駒之助、佐々木信孝  
 事務局: 林 啓子、高橋久美子

#### ■2007年度後援会活動

①資金助成、②後援会リーフレット作成、③卒園生2名にお祝い金、④年2回のバザーへの協力、⑤その他

#### ■その他報告

2007年度会費納入会員 420名

#### ■会計報告

2008年3月の卒園式にあたり、2名の卒業生に祝い金(20,000円ずつ)進呈し、前途を祝しました。

### 平成20年度 役員会開催

日付: 6月14日(土) 出席者: 理事16名

■平成19年度事業報告、決算報告、会計監査報告、平成19年度事業報告、至誠学園の寄附決定

■平成20年度後援会事業計画、予算案について

①役員人事について

顧問: 土井智生、青木徳祐

会長代行: 尾崎豊

副会長: 西村よね、佐々木信孝

②理事長、新旧施設長のご慰労会の開催について

## 至誠学園後援会ご加入のお願い

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします。

(至誠学園後援会会長 三田鶴吉)

<連絡先>

至誠学園後援会事務局

立川市錦町6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

### ■平成19年度 後援会決算報告

収入の部	項目	予算	決算
	繰越金	103,176	103,176
後援会会費	2,500,000	2,291,100	
利息		628	
合計	2,603,176	2,394,904	

支出の部	項目	予算	決算
	寄付金	2,000,000	2,000,000
祝い金(卒園生)	20,000	40,000	
郵便振替料金	30,000	37,580	
切手・領収書代	30,000	16,000	
予備費	523,176	15,750	
次年度繰り越し金	0	285,574	
合計	2,603,176	2,394,904	

#### ■事業計画

- ①会員の増強
- ②卒園生への祝い金贈呈(1名)
- ③学園諸行事への協力
- ④後援会たよりの発行

### ■平成20年度 後援会予算

収入の部	項目	予算
	繰越金	285,574
後援会会費	2,300,000	
利息	0	
合計	2,585,574	

支出の部	項目	予算
	寄付金	2,300,000
祝い金(卒園生)	20,000	
郵便振替料金	30,000	
切手・領収書代	30,000	
印刷製本費	100,000	
雑費	50,000	
予備費	55,574	
合計	2,585,574	

会費の納入につきましては、下記の口座にて承ります。

<後援会ご入金内容>

1. 個人会員 1口(年額2千円)以上
2. 団体会員 1口(年額5千円)以上
3. 賛助会員 (寄付金)
4. 施設扱いの寄付

<郵便振替口座>

口座番号00140-2-356681

口座名 至誠学園後援会

<銀行口座>

中央三井信託銀行立川支店

口座番号 普通 7902588

口座名 至誠学園後援会

## 至誠学園バザーのお知らせ




# 至誠学園バザー

## 平成20年11月23日(Sun) 10:00～14:00

物品の販売(食料品・日用品・衣類)・模擬店・アトラクション・福引き等あります!  
 物品のご提供、当日のご来園を心よりお待ちしております!  
 ※なお実施状況から中古衣料、電化製品、家具のご提供はお断りさせていただいております。

お問い合わせは、至誠学園バザー実行委員会まで  
 東京都立川市錦町 6-26-15  
 tel:042-624-2601 fax:042-624-2367  
 e-mail: info@shisei.org




今年度も至誠学園バザーを開催いたします。このバザーの収益は、子どもたちの行事費及び施設運営の資金としますとともに、当学園の活動を地域の皆様により理解していただくことを目的としております。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来園下さい。

日時:平成20年11月23日(日)  
 午前10時00分から午後2時00分まで  
 場所:至誠学園の園庭及び室内(雨天決行)  
 内容:イベント・衣類・日用品・玩具・食料品・  
 模擬店・福引他

バザーに関する問い合わせは  
 至誠学園バザー実行委員会まで  
 (TEL 042-524-2601)

## 今後の主な予定

- 子どもたちの行事
  - 9/15 敬老行事(至誠ホーム訪問)
  - 9/23 墓参(青山善光寺)
  - 10/19 学園運動会(立川市営グランド)
  - 11/15 七五三
  - 11/16 施設文化祭  
 第六ブロックサッカー大会  
 いなげやさんお料理コンテスト
  - 12/7 江戸っ子杯バレーボール大会
  - 12/20 モンテッソーリ立川子どもの家クリスマス会
  - 12/24 学園クリスマス会

- その他予定
  - 9/25 東京都指導検査
  - 10/25 理事会

## 専門機能強化型施設報告会の開催

実施日時:2008年6月25日(水)  
 場所:かしの木プラザホール

東京都育成支援課、児童養護施設職員、立川市子ども家庭支援センター職員、学園職員、計86名の出席で実施されました。



板井児童精神科医から、医療の新たな介入による児童養護の実践報告と、若松セラピストから、グループホーム巡回型の心理コンサルテーションの実践報告、政策の立場での協議がされました。

## 新しい「まことらぶ」お披露目



学園のアフターケアとして出発したまことらぶは、自立支援法による授産施設として認可され、このたび旧学園事務所を改修して、本格的に出発しました。甲州街道に面した直売できる手作りおやつのお店“Leaf”が開店しています。保育園帰りのお母さん方に利用されています。

## 至誠学舎創設100周年記念シンポジウム開催のお知らせ

日時:平成20年10月17日(金)  
 13:00～17:00  
 場所:立川グランドホテル4階カルログランデ  
 入場無料  
 講演:NPO 法人アジア地域福祉と交流の会 中澤 健 氏  
 大韓民国慶州ナザレ園 宋 美虎 氏  
 神奈川県立保健福祉大学教授(元内閣官房内閣審議官) 河 幹夫 氏

## 第5回児童虐待防止セミナー開催のお知らせ

日時:平成20年11月21日(金)  
 19:00～21:00  
 場所:立川市市民会館小ホール  
 内容:講演と音楽  
 入場無料

## 卒園生からの手紙 「至誠学園での生活を通して」

私が初めて至誠学園に来たのは5歳のときでした。その時は正式に入園していたのではなく、母の入院中に、保育園を終えてからの時間を学園で過ごし、夕食を食べて父親の待つ家に帰ると言う“預かり”形式の仮入園でした。しかし当時はそうした制度はなく、私のこうした経験はその後“トワイライトステイ”制度発足に生かされたそうです。

至誠学園で暮らした10年間を後悔したことは一度もありません。学園で暮らした時間は何にも変えがたい素晴らしいものでした。あの時があったからこそ今の私があるのだと確信しています。これからもその気持ちは変わらないでしょう。ぜひ他の入園生も至誠学園での一分一秒を噛み締めてほしいと思います。それは他では決して得ることのできないあなただけの美しい記憶になるからです。私は大学時代、園長先生のお陰で、フランス・イタリア・イギリスとホームステイをさせていただきました。現在はボーイスカウトのリーダーとして頑張っています。

## 編集後記

大変お待たせ致しましたが、今年度第1号のおたよりをお送りいたします。この夏も子どもたちは元気いっぱいにご覧いただくことができました。皆様の温かなご支援、ご協力のもと心より感謝いたしております。今後も学園の子どもたちの様子を随時ご報告していけたらと思っております。ご意見、ご感想等お寄せいただければ幸いです。